

ごみ処理広域化について

【ごみ処理広域化の検討経過】

平成 19 年	検討を開始
平成 22 年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ごみ処理広域化実現可能性調査</div> を実施 (調査結果) 共同で 1 か所設置のほうが、2 市 2 町が単独でごみ処理を行う場合に比べ約 26%程度の経費削減と環境負荷の低減が見込まれる。
平成 22 年 12 月	2 市 2 町がごみ処理の広域化に参加する意思を表明
平成 23 年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ごみ処理広域化基本計画</div> を策定 施設規模、概算事業費、事業スケジュール等
平成 24 年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">用地選定委託</div> (候補地 4 か所を優先順位付)
平成 25 年 2 月	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">高砂市 (現美化センター)</div> に決定

【目標 (稼働開始) 年次】

施設整備の目標 (稼働開始) 年次は「平成 34 年度」

【整備対象施設】

「可燃ごみ処理施設」及び「不燃・粗大ごみ処理施設」

【事業スケジュール (案) について】

	H25	H26	H27	H28	H29~33	H34
施設整備計画等						
ごみ処理方式選定						
生活環境影響調査 都市計画決定						
事業運営方法選定 事業者決定						
施設建設 (解体含む)						
施設稼働						

【今後の課題】

- ・ 住民の協力
- ・ ごみの減量化
- ・ 環境整備